

あなたと議会の情報ネットワーク

あおがら21

題字リニューアルしました！
→詳しくは15ページ

熊本県・みふね町議会



七夕飾りに願いを込めて (七滝中央小学校)

| | |
|-----------------------|----|
| 6月議会で決まったこと | 2 |
| 町政を質す！(一般質問) | 6 |
| 委員会報告(議会改革推進特別委員会) .. | 15 |

No.189
6月議会
R5.7

会期日程 6月8日～6月15日

(内6月13日、14日予算決算特別委員会)

傍聴人数 のべ55人 (予算決算特別委員会含む)

一般質問 8人

審議内容 報告、条例、補正予算、諮問など計15件を審議した。

専決処分

本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、町長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

御船町税条例等の一部を改正する条例の制定について
御船町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

報告



繰越明許費繰越計算書について
事故繰越し繰越計算書について

条例等の改正・制定



御船町地域防災計画の一部修正について



御船町課設置条例及び御船町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

御船町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
御船町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について
御船町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

予算
決算

補正予算

単位：千円

| 会計名 | | 補正額 | 補正後合計額 |
|------|----------|------------|------------|
| 一般会計 | | +1,602,801 | 13,698,414 |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | +1,286 | 2,383,783 |
| | 緑の村運営事業 | +6,600 | 33,409 |
| | 公共下水道事業 | +15,109 | 651,965 |
| 水道事業 | 収益的収入 | +3,305 | 327,479 |
| | 収益的支出 | +11,594 | 326,663 |
| | 資本的収入 | +100,619 | 264,073 |
| | 資本的支出 | +100,931 | 397,985 |

諮問

人権擁護委員の候補者の推薦について (柴田敏博氏)



予算決算特別委員会での審議

《議案第7号 令和5年度御船町一般会計補正予算案（第2号）》

議員間自由討議において委員より、次のような意見があり討議が行われた。

認定こども園施設整備事業について

- 施策立案段階から議会に対して課題の共有や事業計画の報告をすべきではなかったか
- 改めて、予算化に至るまでの経緯について説明を求める必要があるのではないかと

台湾企業誘致に係る旅費について

- まずは誘致するターゲットの設定が必要ではないか
- 約1か月間の滞在だけでは、関係構築が難しいのではないかと
- 派遣する職員は中国語の習得が必要ではないか
- 長期滞在中も企業誘致係の事務に支障をきたさないよう人員確保が必要ではないか
- 執行部と議会が一体となって推し進めるべき

システム改修について

- マイナンバーカード等の国の施策とも連携が必要ではないか
- 費用対効果の検証が必要ではないか

キッズドリーム運動公園プロジェクトについて

- 計画に基づいて昨年度から動き始め、今後多大なる予算が充てられる事業なので、議会として十分に注視すべきではないか
- 町の課題である内水対策という視点も踏まえて事業構築をしていくべきではないか
- 民間アドバイザーへの委託料約1,300万円という額が妥当なのか判断が難しい。委託しなくてもできる部分があるのではないかと

デジタルを活用した観光費について

- 魅力的かつ効果的なPRを実行するために、御船町を表現する共通イメージが必要ではないか
- 440万円かけて作成される動画の利用期間が1年間しかないのは疑問だ。有名人を起用した場合の肖像権の問題があるにしても、安くできる人や、長期間利用できる人を選ぶべきではないか
- 行政側が慎重な検討を行い、予算案に基づいて最も効果的な選択をするべきではないか

審議の結果、原案は全会一致で可決された。



予算決算特別委員会意見書

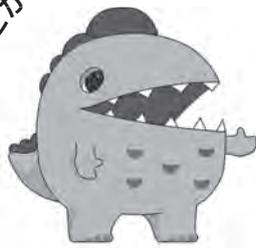
令和5年度6月会議、議案第7号令和5年度御船町一般会計補正予算（第2号）について、御船町議会予算決算特別委員会として特に次の意見を付す。

- 執行機関と議会で町の課題共有を図り、予算案提案以前の施策立案段階から議会に対し、説明や意見聴取を行い、適切な形で町の施策に反映させるように努めること。

その他の予算案は、特に議員間自由討議はなく、全て全会一致で原案が可決された。



ここがポイント



PickUP

審議内容を抜粋して掲載しています。他の審議内容はホームページまたは、役場1F情報開示コーナーでご覧ください。

このQRコードからどうぞ



PickUP
①



新設！危機管理防災課に期待すること

問 国民保護法のもとカルチャーセンター地下にシェルターの建設を望む。

総務課長 国の動向等情報収集に努める。

問 災害危険の盛り土等、詳細調査箇所はあるか。

建設課長 大規模盛り土造成地として20か所確認、そのうち5か所については滑動崩落防止対策として工事を既に実施。15か所は令和2年度に現地調査を実施、調査の結果は、経過観察となったため、年に1回のパトロールを実施していく。

問 自主防災組織の現状はどうか。

総務課長 自主的に防災訓練をしたり講話を聞いたり等活発に取り組んでいる組織がある一方で、そこまでの活動がなされていない組織もある。危機管理防災課を設置し、地域防災力の向上を目指していきたい。

問 防災士の活用は。

総務課長 地域の防災リーダーとして活躍して頂く。

問 機能別消防団の位置づけをどう考えるか。

総務課長 機能別消防団について、防災計画上の役割分担としては明記されていないが任務内容等は規則で定めている。機能別消防団員は現在130人いる。消防団及び機能別消防団活動の充実を図り、地域防災力の向上を目指す。

問 熊本地震後策定された受援計画は職員に周知されているのか。

総務課長 業務継続計画、受援計画は策定して4年が経過しており、計画内容が現状と合っているかどうか点検し、必要であれば随時変更を行っていく。また熊本地震以降に入庁した職員も多くなってきているので、防災訓練等と併せ

て、業務継続計画、受援計画の研修等を行っていく。

問 ハザードマップは新しく作成されるのか。またリアルハザードマップは今後増やす予定があるのか。

総務課長 現在のハザードマップは平成30年に作成している。補正予算可決後新しく作成予定。リアルハザードマップも令和4年度に10か所設置し、令和5年度も新たに10か所設置する。

問 防災行政無線の整備状況と福祉施設等への設置について。

総務課長 防災行政無線の戸別受信機の設置数は令和5年3月31日現在1,211件。在庫389台。また貸与を希望する施設の代表者から申請があれば対応する。

問 女性消防団の現状と現場出動は、それに報酬はどうか。

総務課長 一般団員1人と女性消防隊が26人で合計27人。活動は子どもたちへの火災予防の啓発活動といったソフト面での活動に期待している。今のところは火災現場での活動は考えていない。報酬は通常団員と同じである。

問 企業との災害協定の内容は。

総務課長 災害時の支援をいただく内容。包括的締結である。



リアルハザードマップ





☉ 3件の事故繰越の説明を。

農業振興課長 令和3年度の農地・農業用施設の災害復旧になる。6月1日現在で全体件数のうち38件終了、残り2件年度内完了予定。

建設課長 道路メンテナンス事業について、四宮橋の旧橋撤去工事は右岸側の舗装のみ、七滝橋の橋梁補修工事は完了検査待ち、公共土木施設災害復旧費については令和3年豪雨災の復旧費。

☉ 事故繰越に至った理由は。

農業振興課長 営農期間、出水期により工事期

間が制限されたこと。残っている2件については境界確定に時間を要したこと。また、そのうち1件は令和4年8月の豪雨にて現場が造破し、令和4年の災害として再度国の災害査定を受けたため。

建設課長 道路メンテナンス事業については県河川のため、協議等を経て11月以降の工事となった。災害復旧工事についても地元より出水期、農繁期には工事はしないでほしいとの要望があり令和4年11月以降しか着工はできなかったため。



四宮橋工事着工前



工事竣工



☉ 今回の機構改革は縦割り行政にならないか。

総務課長 縦割り行政にならないように秘書政策室が各課横断的に連携をとる。

☉ 人員、人に対する投資は。

総務課長 しっかりと人員をつけた施策の推進に努力する。

☉ 機構改革で人員も不足するのでは。また財政面は大丈夫か。

総務課長 予算も時には大胆に使うことも必要。

職員不足による町民サービスの低下はなくす。

☉ 中山間に特化した課、移住定住の相談窓口は。

総務課長 まちづくり課となる。

☉ 危機管理防災課は災害のスペシャリストになれるのか。

総務課長 専門性が求められるので研修等で知識を高める。



ただ

町政を質す!

6月議会一般質問



福本 悟 議員



安全・安心な
まちづくりは



作田 豊明 議員



廃校・遊休施設は十数年
間手付かず。地籍調査の
早期完了を



増田 安至 議員



町独自の計画を!
住民と共に!



清水 聖 議員



町長の政治姿勢を
問う



田上 忍 議員



町が把握している
環境問題は



井藤はづき 議員



吉無田の受け入れ態勢
は万全か



福永 啓 議員



どのようなまちづくり
を目指すのか



田上 英司 議員



上益城5町廃棄物処理
施設建設について



安全・安心なまちづくりは

A. 地域ぐるみによるまちづくりを推進



◀動画をチェック



質問の背景

安全・安心なまちづくりについて、第6期総合計画には「防犯・防災・交通安全体制の充実」を掲げられているものの、全国では毎日のように犯罪や交通事故など新聞やテレビ等で報じられている。又、サイレンを鳴らして出動する救急車を見ると、本町の安全対策は大丈夫なのか。そこで、道路を安全・安心に通行できるよう防犯灯及び防犯カメラの設置計画など、安全・安心なまちづくりについての考えを伺った。

問 安全・安心なまちづくりは。

町長 防犯灯や防犯カメラを有効に活用しつつ、地域ぐるみによる安全・安心なまちづくりを推進していく。

問 防犯灯の設置基準は。

総務課長 「御船町防犯灯設置に関する規則」に基づき運用している。

問 国・県道に係る防犯灯の設置・管理費は、町が負担するべきでは。

総務課長 国・県道は、利用者が幅広く不特定多数の方が利用されることから、他団体の状況も参考にしながら町が負担する方法も考えていく。

問 防犯灯のLED化は。

総務課長 今後2か年ですべての防犯灯をLEDにすることを目標に、本会議においても所要の工事費を補正予算案として提出している。

問 防犯カメラの整備(設置)状況は。

総務課長 役場庁舎、カルチャーセンターなど公共

施設内には一部設置しているが、交差点や道路沿いに町が設置したものはない。

問 防犯カメラの設置が必要な場所は。

総務課長 交通事故の発生が特に多い町道部の主要交差点付近を考えている。

今年度は、町内に5基設置したいと考えており、6月会議において補正予算案を提出している。

問 主要な交差点と併せて通学路へ防犯カメラを設置する考えは。

総務課長 通学路の安全確保のため、警察署や教育委員会と連携し、どこに設置するのが有効か協議を重ねていく。

問 藤木町政の3期目のスタートにあたり、安心して生活できる社会の構築に向け犯罪の未然防止に努めていく中で、安全・安心のまちづくりに向けた決意は。

町長 将来の御船町のために今できることは何か、今やらなければいけないことは何かを考え行動に移し、その結果を次の世代へ受け継いでいくことを目指していく。



地区管理の防犯灯(マミコウロード)

質問を終えて

本年度から、町の工事費として区管理の防犯灯をLEDに交換することや、町道部の主要交差点5箇所に5基の防犯カメラを設置すること。今後、道路を利用するみなさんが安全・安心に通行できるよう、町民と一体となった安全・安心のまちづくりに期待する。





動画をチェック▶



廃校・遊休施設は十数年間手付かず。地籍調査の早期完了を

A. 町の財産を有効活用し、中山間の活性化を図る

質問の背景

- ① 廃校をはじめとする遊休施設の現状と利活用
- ② 町の公民館及び分館の現状と果たすべき役割
- ③ 地籍調査事業の進捗状況と今後の計画

問 どのように活用していくのか。

町長 御船町閉校施設及び遊休施設等利活用検討委員会
で議論をする。

問 閉校・遊休施設は何件あるか。

商工観光課長 土地は6施設分で10筆、建物は3施設分
で10棟あり行政目的を終え普通財産。

問 旧田代東部小校舎の利活用をどのように考えてい
るか。

学校教育課長 昭和60年3月に建設38年経過し、活用
した国庫補助金の整理が必要だ。

問 整理ができないと貸出しはできないのか。

学校教育課長 建物の処分制限期間内が令和27年度に
なる。補助目的外に転用する場合には、国庫補助金相当
額の納付が必要となる場合がある。

問 同小体育館は避難場所に指定してあるが、施設の修
繕をどう考えているか。

社会教育課長 指定避難所なので、安心して利活用がで
きるよう対応していく。

問 要望も出されている。町で維持を行ってほしい。

社会教育課長 維持管理については、関係課と協議をす
る。

問 上野保育園の園庭以外の敷地の管理及び利用状況
は。

こども未来課長 敷地内は町が管理し、放課後児童クラ
ブや地域のグラウンドゴルフ等に開放している。

問 移住定住の住宅分譲など中山間地の人口増を考え
検討してほしい。

こども未来課長 有事の際の避難拠点としての有効活用
を図ってきたい。

問 町営住宅の現状は。

建設課長 公営住宅、単独住宅合わせて、29団地、519
戸を管理している。

問 60年経過した住宅だから町営住宅の長寿命化計画
の上で管理委託の考えはないか。

建設課長 用途を廃止する住宅は順次解体し、業務改善
に向け指定管理者制度の導入を検討している。

問 今後の施設の跡地利用計画について、普通財産等へ
移行して企業への売却の考えはないか。

建設課長 御船町閉校施設及び遊休施設等利活用検討委
員会に諮り、活用方法を決定する。

問 町営住宅は町の一等地にある。町長の考えは。

町長 町有地の活用につきましては、検討、研究を重ね
ながら解決する。

問 木倉分館をモデルに各分館での地域づくりとか、コ

ミュニケーション形成の組織づくりに社教主事の役割は
重要だ。教育長の考えは。

教育長 木倉分館の地域づくりは見事だ。社会教育主事
2名の育成も含め、社会教育の活性化に取り組んでいく。

問 教育長は公民館長と博物館館長も兼任しているが
兼務でいいのか。

教育長 私自身も社会教育主事の資格を持っている。公
民館運営に関しては責任を持って努めていく。

問 3つのインターチェンジ周辺の企業誘致の現状は。

商工観光課長 御船ICと小池高山ICと周辺は、民間開
発により企業立地が進展し、上野吉無田IC周辺は現時
点で誘致は進んでいない。

問 3つのインターの周辺の住宅、移住定住の現状はど
うか。

企画財政課長 御船IC周辺は民間によるマンション建
設、小坂地区では民間による宅地分譲等も進み、小池高
山IC周辺には計画はないが、周辺の高木地区集落内に
小規模開発による住宅建設が進んでいるが、上野吉無田
IC周辺には計画はない。また、空き家を活用した移住
定住に取り組んでいるが空き家のマッチングは厳しい状
況だ。

問 中山間地の移住定住の拠点が七滝にできるという
ことは担当課としてはどうか。

企画財政課長 中山間地域の活性化に資する取組となる
ように支援していく。

問 現在の地籍調査の進捗状況と、郡内の地籍の調査状
況は。

農業振興課長 平成15年着手、現在、進捗率は14.6%（嘉
島町57%、益城町33%、山都町60%、甲佐町平成15年
完了）

問 本町がいちばん進んでいないが。

農業振興課長 早期の調査完了に向け、新たな技術の導
入として、リモート先進の技術を検討している。

問 あと30年かかる地籍調査を町長はどう考えるか。

町長 地籍調査の人数を増やし、町としても早急に完了
できるように進めていく。

質問を終えて

町の廃校・遊休施設は、十数年間手付かずの状
況、地域貢献できる企業の誘致を早急に実現すべ
き、地籍を明確化し公共事業、土地取引等の円滑
化、課税の円滑化を図るために地籍調査を10年
以内に完結させる。今後、分館の活動が活発になり、
地域のリーダーを育て、本町の出先機関支所とし
て、職員派遣及び委託職員の配置を提案する。公
民館長、恐竜博物館長は教育長兼任ではなく、専
門知識を持ち、それらの施設の目標に従った施設
運営を行い、町に「元気」と「希望」をもたらす
施設に生まれ変わってもらいたい。





◀動画をチェック

町独自の計画を！ 住民と共に！

A.他の自治体も参考に考える

質問の背景

地域づくりは人づくり、住民の参加があってこそ成立する。これからも住民からの要望を取り上げ、一般質問を通じて政策提案する。

町営住宅管理について

町長 町では公営住宅法など関係法令に基づき、519戸の町営住宅を管理しており、住宅等長寿命化計画に基づき改修工事及び解体工事を行っている。周辺環境整備の費用は町が負担、修繕費用は借主と町との負担区分に基づき負担・修繕を行っている。

具体的な対応

建設課・農業振興課 回答(玉虫・東禅寺団地からの要望より)を表にまとめた。

| 住民からの質問 | 執行部からの回答 |
|------------------------|--|
| ①入居時の備品購入(風呂釜など)補助はないか | 町からの補助や助成はない |
| ②水洗トイレ(合併浄化槽)計画は進んだか | 玉虫団地は来年設置に向けた設計を行う |
| ③屋上躯体のクラックによる雨漏り修理 | 現場確認後、対応する |
| ④団地周辺の環境整備の管理状況 | 町は作業報奨金を交付して対応し、年に2回程度、空家周辺、主要道路の除草作業、危険個所のフェンス設置、側溝修繕等を実施 |
| ⑤空き部屋対策 | 入居促進する手立てを考えていく |
| ⑥ゴミ出しルールの徹底 | 町で周知文書を作成し、対応 |
| ⑦屋根裏の補修工事はどうか | 相談あれば、随時対応 |
| ⑧入居者への環境 | 入居者と町において相談しながら対応 |
| ⑨東禅寺付近の水路修復 | 今後、工法を検討する |
| ⑩秀岳寺西側の治山ダムは安全か | 国が示した技術基準(治山技術基準)により設計・施工されており、十分な抑止効果が期待できる |

町づくりへの地域運営組織の対応について

町長 少子高齢化などから、地域における共助による支え合いの必要性が高まる一方、課題解決のための担い手は不足。特に中山間地域において、人口減少が著しく集落機能を維持す

ることが困難な所もあり、地域運営組織を通じた地域づくりは、大変重要である。

御船町の組織体はどうか

企画財政課長 総務省が実施した令和4年度「地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する調査研究事業」において把握された組織数は、県内128(45市町村中、36が組織無し)団体ある。町では該当しない広義の地域運営組織として、行政区79・公民館分館10・元気づくり支援事業実施団体11ある。

町に「町づくり協議会」を設置しないか

企画財政課長 地域の課題に総合的に対応できる地域運営組織が理想と考える。

公民館分館の組織としての活動が分かりにくい。「みえる化」の必要性和その役割は

社会教育課長 組織体制や役割が整理され、分館長を中心に活発な活動をしている分館もある。分館長会議等で情報共有を図りながら、生涯学習の地域拠点づくりの役割を担っていく。

「活動エリアごとの最適化」は可能か

企画財政課長 旧小学校区を活動エリアとし地域づくりを考える。

道の駅構想など、御船町の計画はどうか

建設課長 ふれあい広場の敷地を道の駅にするのは、制度上困難。

川を利用したMIZBEステーションなど「滝川みんなの広場」の活用はどうか

商工観光課長 広場は10年間の占用許可を熊本河川事務所から頂き、町が占用している。地域のグラウンドゴルフ・災害時ヘリポートとして防災計画に位置付けており、構造物を作ることが出来ない。他自治体の事例を参考に研究する。

質問を終えて

夢と希望が持てる御船町に！将来に向けた計画を住民と共に描きたいと思う。





町長の政治姿勢を問う

A. 町の一般事務以外の質問に対しては
答えられない



動画をチェック▶

質問の背景

今年度4月統一地方選挙は御船町始まって以来初めての無投票という民主主義の根幹をゆるがす事態が起きた。

町長の三期目にあたり政治家としての真価が問われる任期でありどのような政治姿勢をもって舵取りをされていくのかを問う。

町長 「和を以て貴しとなす」を基本に据えて町政を進めて行く。町民、議会との対話を重ね協働のまちづくりを目指す。

問 国は三権分立、市町村は二元代表制であり、二元代表制をどのように捉えているか。

総務課長 日本国憲法に謳われている。お互いに対等の立場で抑制し、緊張関係にあるということ。執行機関からの提案を審議・議決する議会のこと。

問 議会は、町長の行政執行が適正であるかをチェック・監視するのが一番の仕事。今回の議長、副議長が決まる過程で町長や県議が介入したことは由々しき問題であり、森田議長が誕生したことで二元代表制の意図する議会の権限・監視機能が働くのか。

町長 一般質問は町議会規則第61条の規定にあるとおり、町の一般事務について質問できるとなっており、今の質問に対しては、答えることはできない。

問 森田議員を議長にと要請されたか。

町長 繰り返しになるが、答えることはできない。

問 どのような気持でこのような行為をされたか。

町長 繰り返しになるが、答えることはできない。

問 私が電話をした内容を覚えているか。

町長 繰り返しになるが、答えることはできない。

問 元町議の方が町長選に出られるようで4年後を見据えてのことだと言われたが。

町長 これも答えることはできない。

問 クリーンなイメージがある町長が裏工作を平気でやる人だということがわかり町民も残念に思っていると思う。議長にも尋ねる、町議会の採決に町長が介入することは良い事か悪い事か、○×2択で答えて。

議長 個別のことには答えられない。

問 首長をチェックする機関だが、議会のトップである議長選に首長が介入することは良いか悪いか○×の2択で。

議長 これも答えることはできない。

問 明確な答えができないということは、やはり悪いことだと認識されていることの証だと思う。町長、あなたは御船町議会を采配しようと考えておられるのか。

町長 采配しようとは思っていない。

問 クリーンで透明感のある藤木町長のイメージが壊れたが、今後どのように払拭していくか。

町長 私の思いを議会に伝え、議会の思いを私の政策として良き方向に進むよう頑張っていく。

問 二元代表としての首長と議会の役目が変わったが、町長としてどのように立て直していくか。

町長 議会とともに町の未来の子どもたちのために力を尽くしていく。

質問を終えて

藤木町長のクリーンで裏工作はしない人というイメージが壊れた。御船町それから御船町議会がクリーンで透明感があり、未来の町民に対し、正直で正々堂々と活発な議論が出来るものであってほしいと願う。

町が把握している 環境問題は

A. 家畜排泄物の流出を確認

田上忍議員



◀動画をチェック

質問の背景

ゴミ処理施設建設で環境問題がとりだされている。地域住民の方から今、山が汚れている、どうなっているのかとあったので質問した。

問 ごみ処理場建設における課題は何だ。

町長 事業主体が広域連合から民間事業者に変更になった経緯、事業の有益性や安全性など議会や町民に説明してきた。当該施設の立地が周辺の環境に影響を及ぼすことのないよう、事業者が行う対策と併せて、本町としても、上益城広域連合や他4町、熊本県など、関係機関と協議をしながら適切に対応していく。

問 町民に理解をしてもらっているといえるか。

環境保全課長 地下水や交通などに対して不安を持っている人はいる。問題の解消や不安の解決については客観的な指標が重要だ。

問 現時点で町が把握している環境問題はないか。

農業振興課長 田代地域の畜舎裏から家畜排泄物が流出していると地域住民から通報があった。町農業振興課、環境保全課と上益城地域振興局農業普及振興課、御船保健所と現地の状況調査を行った結果、堆肥の流出を確認した。

問 家畜排泄物の管理は法律でどう規定されているのか。

農業振興課長 守るべき管理基準を定め、家畜排泄物の管理の適正化を図る。また、家畜排泄物の処理の高度化を図るための施設の整備を計画的に促進するとある。

問 対策を行うのは施設の持ち主か、管理者か。

農業振興課長 畜主である管理者だ。

問 管理者はだれだ。

農業振興課長 畜産業を営む農業者は少数なので発言を控える。

問 この施設に対してどう対応したのか。

農業振興課長 4月17日に通報があり住民の方と農業振興課、環境保全課職員とで現地確認を行った。4月18日、農業振興課職員、環境保全課職員と上益城地域振興局農業振興課職員、御船保健所職員で流出箇所の状況確認を行った。この結果、堆肥が雨で流出していることを確認した。

4月21日に県担当局、町関係課と畜主立ち会いで流出原因の確認を行い仮置きされていた堆肥が4月14、15日の雨で流出したことを確認した。

県担当部局から堆肥の流出、清掃箇所の清掃、また今回堆肥を一時保管していた場所には保管しないなどの指導もあり、畜主からは、今後堆肥の管理徹底を行う旨の回答を得ている。4月28日に県担当部局と町関係課による流出箇所の確認を行い、清掃されていることを確認した。畜主からは、改めて仮置きしないという回答を得ている。

問 常習的に置いていた事実はないか。

農業振興課長 振興局の確認の中では常習的な仮置きはなかった。

問 再発防止はどう考えているか。

農業振興課長

県担当部局と連携した立ち入りを定期的実施する。



家畜排泄物が流出していた畜舎

質問を終えて

山間部なので住民の目には触れにくい。町全体の畜舎の数は少ないので定期的な見回りの必要性を感じた。





動画をチェック▶



吉無田の受け入れ態勢は万全か

A. 緑の村の改修計画を早急に作成する

質問の背景

今年度から吉無田へのアクセス道路の改良工事が着工する。さらなる交流人口増加を期待する為には、目的地の環境整備にも取り組む必要がある。町執行部は吉無田地域の現状をどのように認識し、どのように環境整備に取り組む計画なのか。

問 総合計画で吉無田高原を「観光文化交流拠点」と位置付ける目的は何か。

商工観光課長 吉無田高原を町の魅力として発信することで、町の認知度向上、ビジネスチャンスの拡大、文化的交流を図り、町全体への交流人口の拡大を実現したい。

問 今年度着工の津ヶ峰浅ノ藪線および上田代線の改良工事のスケジュールは。

建設課長 令和5年度に県道益城矢部線から川角橋までの区間と、町道上田代線と吉無田線（本線）との交差点改良工事を行う。令和6年度から7年度にかけて上田代集落内の道路整備、カーブカット工事、待避所の設置を行う予定。

問 道が広くなると交通量が増加しスピードも出やすくなる。安全対策は考えているか。

建設課長 速度規制やカーブミラーの設置、歩行者スペースの確保などを考えている。

問 上野吉無田ICと吉無田高原の間に、誘導看板がなく道が分かりづらいという声があるが何か対策はあるか。

商工観光課長 近年はナビを使用する観光客も増えているので、マップアプリ導入の予算案を本議会に提案した。

建設課長 今回の工事で、上田代線と吉無田線（本線）との交差点の3方向に看板を設置する。

問 吉無田を訪れた観光客にどのように過ごしてもらいたいのか。

商工観光課長 綺麗な空気と自然豊かな環境の非日常的な空間で心身ともにリフレッシュしてほしい。また、アクセス道路が完成したらバスツアー等で町内の他の観光地と併せて訪れてほしい。

問 緑の村の課題は何か。また、どのような計画で解決に取り組むか。

商工観光課長 築40年を経過している施設があり、現在のニーズに合っていない。施設改修に関する計画を早急に作成し課題解決に取り組む。

問 総合計画の「吉無田高原リゾートプロジェクト」では景観をどのように考えているか。

商工観光課長 総合計画の中に景観について記載はないが、吉無田地域の自然環境を保全していくことも必要だ。今後も、自然と共存し、景観を活かした吉無田高原バージョンのリゾート化を図りたい。



吉無田水源の公衆トイレは水が流れない

質問を終えて

トイレ、駐車場、飲食店や売店の誘致などなど…。吉無田が目的地となるための課題はまだ山積みだ。緑の村の施設改修のみならず、吉無田地域をソフトとハードの両面から一体的にデザインして「吉無田リゾート」を実現してほしい。

どのようなまちづくり を目指すのか

A. 町民と共に、調和の取れたまちづくりを
目指す



福永啓議員



◀動画をチェック

質問の背景

町長選挙及び議員選挙共に無投票だったことから、藤木町政3期目の町づくりに対するイメージが町民に伝わりにくかったため、町づくり全般に対して質問した。

問 熊本地震被災から、創造的復興へと進む中、コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻と、予想しえない惨禍に見舞われ、町民の皆様には、我慢や苦勞を強いてきた部分が多々あると感じる。しかし、そのような惨禍に見舞われながらも、町の人口が回復傾向にあることや、税込増、町の貯金（財政調整基金等）の増など、町にとって明るい兆しがいくつかある。今こそ、町民皆様のためのまちづくりを本格化する時ではないのか。

町長 3期目は、まさにそういう時期だと考える。2期8年で得た経験やノウハウ、人のつながりを大切に、3期目のまちづくりに邁進していく。

問 企業誘致等が進み、町が発展するのは良いが、乱開発になることはないか。

町長 「目標を達成するためには手段を選ばない」というまちづくりを行うつもりは全くない。地域経済を発展させる開発を促進しながら、自然・環境・文化等の調和の取れたまちづくりを目指していく。

問 そのようなまちづくりを目指すうえで、町づくり先進地では一般的な、景観や街づくりに関する条例制定が有効ではないか。

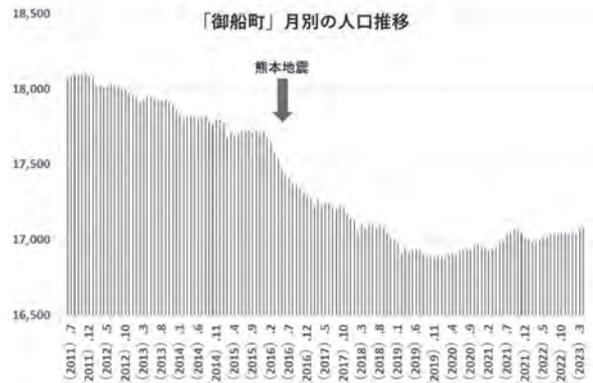
企画財政課長 条例の制定については、住民の理解を得る必要があることから、まずは他自治体の事例を見ながら勉強することから始める。

問 人口減少が著しい中山間部の課題にはどう対応するのか。

企画財政課長 中山間の課題解決には、集落の維持・機能強化はもとより、人と人、地域の繋がりの構築に向けた地域コミュニティの再生を図っていく必要がある。中山間地域の拠点となり、地域振興に寄与する施設整備や、住民の相談など即座に対応できる環境整備に取り組む。

問 中山間部も平坦部も同じ御船町である。中山間部についての施策等について検討するときは、平坦部の方も当事者であるので、共に中山間部の事について、考えるような体制をとるべきではないか。

企画財政課長 中山間部の活性化のための施策推進には、平坦部の方々の理解も必要であり、一緒になって考えていく仕組みを作りたい。



長期減少傾向にあった御船町の人口は、熊本地震で急激に落ち込んだ後、やや回復傾向に変わった

質問を終えて

これから本格化するまちづくりに際しては、町民と執行部そして議会が共に、まちづくりの理念やビジョンを共有する必要性を感じた。





上益城5町廃棄物処理施設建設について

A・引き続き事実に基づき丁寧な説明に努める



動画をチェック▶

質問の背景

廃棄物処理施設建設問題は7回目の質問、住民の不安・懸念・疑問を払拭することが重要。あるべき二元代表制、地域の事を決める政治チャンネルを持っているのは議員、そして住民意思である。

上益城5町廃棄物処理施設建設について

問 上益城の他の4町の役割は何か。

環境保全課長 事業への合意形成の相手先、令和7年度から始まる熊本市へのごみ処理委託調整や当該事業の造成・貸付などを現在調整中。

問 建設予定地の買収対象面積、その地権者は何名か。

環境保全課長 面積は12万5275,43平方メートル、34名の地権者のうち1名とは未契約。

問 売買契約者への産廃処理の説明はされていない、その対応はされたのか、それでも納得されない場合はどうするのか。

環境保全課長 説明はなされていないが、これまで事業計画変更の説明会を実施した。広域連合によると納得されないという疑義は生じていないが、生じた場合は理解を得るため個別説明を広域連合が行う予定である。



住民の声を町へ

問 最終処分場は県内の何処になるのか、山都町に予定されている施設も入っているのか。

環境保全課長 まだ決まっていないが、山都町に計画されている最終処分場は入っていない。

問 売買契約書の法的有効性だが、産廃処理のことは全く記載されていない、広域連合がダメしたことになるのか、訴訟対象の可能性もあると考えるが。

環境保全課長 広域連合は問題ないと認識している。

あるべき二元代表制の重要性は

問 町長が町議会議長選挙に介入し、特定町議への投票依頼に議員宅を戸別訪問したことを副町長はご存じか。

副町長 承知していない。

問 町長は前議長に「通年議会」をやめたいと申入れ、断られたと聞いているが事実か。

町長 お答えを控えたい。

問 当議会は議案承認後、執行部全員が立ち上がり議員に頭を下げる、二元代表制の地方議会にそぐわない行動であり、改善されたらどうか。

町長 感謝で起立し、お礼をしていた。必要であれば控える。全協で検討して頂きたい。

質問を終えて

住民が望むこと、行政がやらず誰がやる、住民無視・軽視は許されない。住民と共に歩き、住民の声に耳を傾け、負託に応えなければならない。

議会改革推進特別委員会の使命

予算決算特別委員会 委員長 福永 啓

6月8日。第1回の議会改革推進特別委員会を開催した。

今回の委員会は、今までにない厳しい使命を帯びた委員会であると考えている。

御船町議会議員選挙においては今回、御船町始まって以来という無投票に終わった。

また、周辺の町でも同様に無投票となった議会が多くみられた。

地方自治は住民の意思に基づいて行われなければならない。

その住民を代表し、自治体の意思を決定する機関である議会議員のなり手がいないという現実、地方自治の根幹にかかわるゆゆしき課題であるといえ、この課題解決から逃げるのが許されないのが、本委員会であると考えている。

この課題解決のためには、さらなる議会改革や議会の可視化等を通して、町民の思



第2回は議会アドバイザーと意見交換を行った

いをより良い形で町政に反映させることはもちろん、若い世代が議員になりたいと思えるような、議員待遇の適正化にも踏み込まなければならない。

本委員会では、委員長、副委員長、そして委員の皆様が一丸となり、この難題突破にあたることができると考える。

議会広報「あおぞら21」題字リニューアル!!

広報誌の顔となる題字を、御船高校書道部の生徒さんに書いて頂きました!

また、書道への取組姿勢等コメントもいただきました!



「今度は良いかな…」

(納得がいくまで何度もやり直しをされたとのこと。)



わたしが
題字を担当しました!

御船高等学校(御船中出身)
普通科芸術コース 書道専攻
田中 未羽さん(2年)

書の上達には、よいものを見極める「目」、感じ考える「心」、そしてそれらを具現化する「技」が必要です。これらの習得を目指し、私たちは日々練習に励んでいます。現在は県高校揮毫大会(9月開催)で団体優勝することが目標です。御船町の皆さん、御船高校の書道を応援してください! よろしくお祈いします。





楽しい冒険の世界へ 「チャ・チャ・チャ」

29年間 御船町の現業職員として働いていた職を、今年3月に退職し、4月から別世界へ飛び込みました。平成6年に入庁して以来、水越小・上野小・小坂小・御船中・オアシス・御船小・七滝中央小・給食センターと多くの児童・生徒・入所者等と沢山の人々とふれあい、多くの思い出を紡いできました。私の実家が御船町で製造業である(有)永田製作所を営んでいます。母と社員の方々が父の他界後、熊本地震を乗り越えました。私も会社のために新しい世界へチャレンジする事に



片志和
吉田眞美

しました。失敗の多い日々ですが、社員の皆が温かく見守ってくれるので感謝です。ものづくりの人々の、妥協せず凛として輝いている姿に、毎日感銘しています。
 先日、参加した研修会の講師「せつさん」先生の言葉が思い出されます。「もう〇歳」でなく「まだまだ〇歳」。私、今日も「チャ・チャ・チャ」で生きます。チャレンジ・チャンス・チャーミング。そうだ！そうだ！明日どんな一日になるか？いやするか！生きていられるって楽しい冒険！明日も輝けていられますように。

8月の議会

- 1日(火) 九央道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会 (宮崎県延岡市)
- 4日(金) 全員協議会
- 23日(水) 議会運営委員会(予定)



みんなの願いが叶いますように。
 七滝中央小の見事な七夕飾り。思い思いの願いにほっこりさせられたり、考えさせられたり。



議会HPはこちら



木倉小学校3年生

議場見学ツアー

6月7日(水)に木倉小学校3年生が校外学習の一環で議場の見学に来てくれました。

議会事務局から町議会の仕組みや仕事についての説明の後は、実際に議員が使うマイク等を使って質問席より質疑を行いました。



御船町議会では町の小中学生を対象に、町議会への関心を深めてもらうために、議会が行われていないときに議場見学や疑似議会体験を付けております。

- 対象** 小学校3年生～中学生
 ※学級単位などグループで、学校の先生等の付き添いが必要。
- 内容** 議会事務局職員による議会の仕組み等の紹介やこどもたちによる疑似議会体験等
 詳しくは下記問合せ先までご連絡下さい。
- 問合せ先** 御船町議会事務局 TEL 096-282-1386